

# 雲南市立病院新公立病院改革プラン評価委員会

- 開催日時 令和3年1月28日（木）14時開会 15時50分閉会
- 開催場所 雲南市立病院 大会議室（管理棟4階）
- 新公立病院改革プラン評価委員会委員

（敬称略／順不同）

氏名	所属	備考
熊倉 俊一	島根大学医学部地域医療教育学講座 教授	委員長
永瀬 英雄	雲南医師会 会長	副委員長
山口 修平	島根県病院事業管理者	委員
片岡 大輔	雲南保健所所長	委員
秦 和夫	雲南市社会福祉協議会会長	委員
舟木 清	住民代表	委員
矢壁 敏宏	住民代表	委員
永井 まゆみ	住民代表	委員
錦織 美由起	社会福祉法人よしだ福社会副施設長	委員（欠席）
影山 喜文	住民代表	委員（欠席）

## 4. 点検・評価内容

新公立病院改革プランの「果たすべき役割」「経営効率化」の令和元年度実績について、病院からのデータに基づいて点検・評価をさせていただきました。

「果たすべき役割」については4つの基本方針を立てて取り組まれ、病院の自己評価を示していただいたが委員会としても確認し、令和元年度の実績としては4つの基本方針に基づく各取り組みはほぼ達成できていると評価する。特筆すべき点としては田井診療所の診療を雲南市立病院がカバーしていること、掛合診療所を雲南市立病院のサテライト化とし、地域の住民の方々にとっては大変意義のあることであり、評価できる点である。また、総合医の育成・養成についても、雲南市立病院は県下でもリードしている状況であり、評価できる点である。今後とも養成システムの充実をさせて、多くの総合医を輩出させてほしいと考える。加えて人材の育成では医師、看護師、特に地域枠の看護師の高定着率、率は少ないが医師についても定着し始めている。今後、より将来にわたって定着できるキャリアアップを含めたキャリア形成支援を充実させてもらいたい。

「経営効率化」については新病院建設に伴う経常損益が赤字ということであるが、内部留保資金が約700万円蓄積され、繰越内部留保資金が約15億という状況、また入院・外来の収益についても前年度よりプラス傾向である状況は評価できる点である。今後はコロナ対策等難しい点に直面するが、キャッシュフロー、診療単価や患者数の増加等の話もあったが、収益の増加に向けて健全経営が図られるように病院が一体となって取り組まれることを期待している。自己評価で未達の項目で医師の不在の診療科については引き続き、大学等の医局等と連携をし、確保に向けた努力を続けていただきたい。

令和3年1月28日

雲南市立病院新公立病院改革プラン評価委員会  
委員長 熊倉 俊一